

⑦ 野鳥の観察

- 1 子どもたちに伝えたいこと
 - ・野鳥の観察を通して、自分たちの周りにおける自然環境を考えてみる。
 - ・日野には野鳥の餌となる、木の実・小魚・昆虫などが豊富にあることを伝える。
- 2 実施時期：通年
- 3 実施場所：野外
- 4 対象学年：中学年～高学年
- 5 関連教科：総合、理科
- 6 時数：2時限～3時限
- 7 事前準備
 - ・河川・公園管理者への申請（必要な場合）
 - ・フィールドの下見
 - ・野鳥について事前学習
 - ・野鳥の資料の作成・印刷
- 8 当日
 - (1) 準備する材料や道具
 - 学校：印刷した資料、筆記用具、図鑑、双眼鏡（あれば）
 - どんぐりクラブ：双眼鏡、望遠鏡、ボランティア袋（ゴミ拾い用）
 - (2) 授業の流れ
 - (ア) あいさつ
 - (イ) 鳥に関する話
 - (ウ) 双眼鏡の使い方
 - (エ) 野鳥観察のこつ
 - (オ) 観察をする
 - (カ) まとめ
 - 観察で学んだこと、気づいたことなどを発表する。
 - (キ) 終わりのあいさつ
- 9 備考
 - ・4～8月は野鳥の繁殖期でもあり、この間の活動はなるべく避けたい。一方、木の葉の落ちる冬場は観察に適している。
 - ・公園や雑木林、河原に行くとより多くの野鳥が観察できるが、学校から遠い場合には移動に時間をとられるため、より多くの時限数が必要である。



<カワセミ>



<川での野鳥観察>



<望遠鏡による観察>